

支援事例 新ものづくり補助金申請

株式会社 八瀬鉄工所

【会社概要】 代表者 代表取締役 八瀬 弘司
所在地 〒671-0254 姫路市花田町勅旨字橋爪90番地
電話番号 079-253-1360
F A X 079-253-8803
事業内容 クランクシャフト加工(切削から仕上げ加工まで一貫対応)



クランクシャフトの加工を専業とし、船舶用から環境・エネルギー分野へ事業拡大!

1951年の設立以来、半世紀以上にわたりクランクシャフト加工に携わってきた八瀬鉄工所。

生産量は月に約120本、1本4トンを超える大型品をはじめ、総重量は年間1,500トンにも上ります。主に船舶用エンジン・クランクシャフト製造で実績を積み上げ、今後は環境・エネルギー分野への事業拡大を狙っています。経済産業省主導「洋上風力発電システム実証研究」事業では風力発電機用クランクシャフトを受注し納入。2015年～2016年にかけて、本格事業化が見込まれます。また、シェールガス革命を起点とする北米向けシェールガスポンプのニーズ増加でシェールガス掘削用ポンプクランクシャフトについても2012年よりサンプル納入、2017年からのシェールガスの日本への輸入までに本格的な受注、事業展開が期待されています。



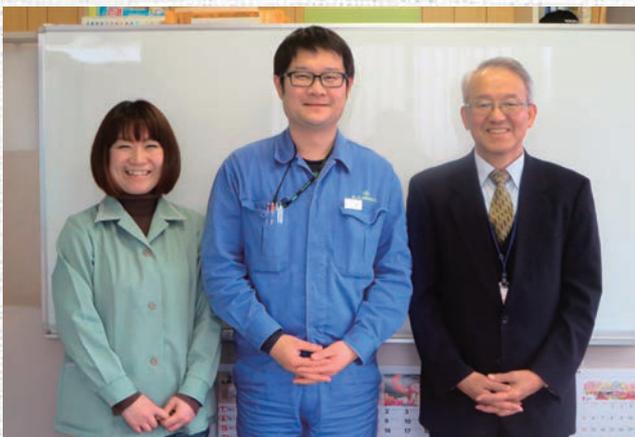
*クランクシャフト…シリンダー内で発生した爆発エネルギー（往復運動）を、コネクティングロッド（コンロッド）を介して回転エネルギー（回転運動）に変換する。爆発エネルギーを受け、1分間に何千回と高速回転する。回転バランスはもちろん、強度、剛性、耐摩耗性が必要となるのでクランクシャフトの材質には、特殊鋼や特殊鋳鉄などが使用され、加工には高精度が求められる。

更なる生産性革新に 公的支援(新ものづくり補助金)を活用!

2015年度～洋上風力発電用などのクランクシャフト受注が見込まれ、また既存の船舶用クランクシャフトも受注増が見込まれ、大幅な能力不足が予測されていました。しかし、現状の生産体制は限界に達しており、今後を見据えた大幅な生産性向上が同社の大きな課題となっていました。それには、最新設備（5軸同時制御複合加工機）の導入が必須。そこで、経済産業省・平成25年度補正予算「ものづくり・商業・サービス革新事業」を活用することとしました。計画書作りは、八瀬鉄工所+姫路ものづくり支援センターが一体となって作成した結果、採択に至りました。



「新ものづくり補助金」申請にあたり、一番の心配事であった書類作成でとても丁寧なヒアリングをしていただきました。おかげさまでみるみるうちにまとまっていき無事採択に至りました。ありがとうございました。



経理担当 代表取締役 ディレクター

